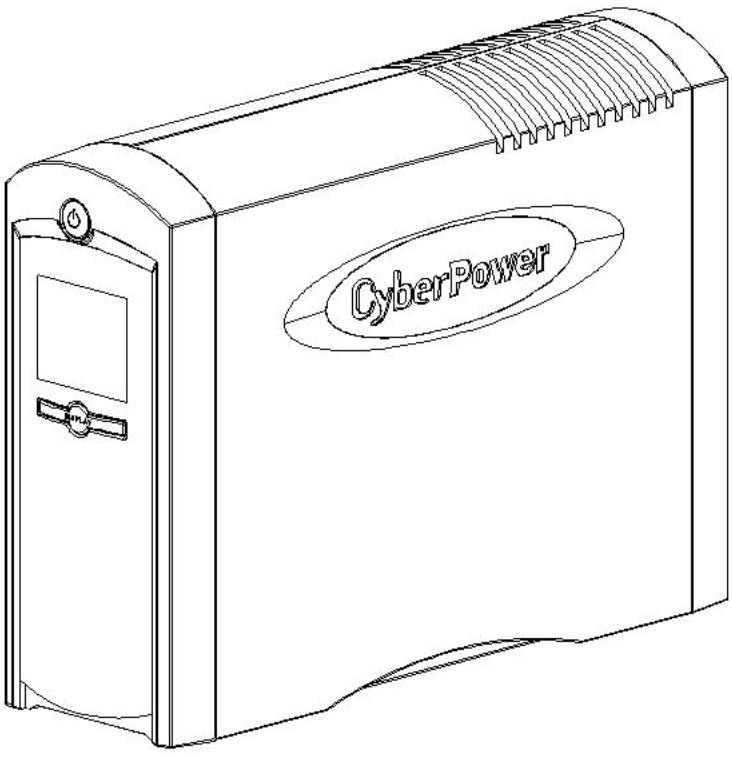
CyberPower®
Reliability. Quality. Value.

BACKUP CR Series

型番: CP900SW JP

型番: CP1200SW JP

取扱説明書



K01-0000136-00

ユーザーズマニュアル

目次

1 はじめに…… 3

2 重要な安全上のご注意…… 4

3 製品紹介……10

4 接続……18

5 運転……26

6 バッテリ交換……28

7 故障かな？と思ったら……30

8 仕様……32

9 省エネルギー技術 GreenPower UPS™ & Active PFC 対応…… 33

10 保証規定……34

11 保証書……37

1 はじめに

このたびは、弊社 UPS（無停電電源装置）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

このマニュアルは CyberPower UPS（無停電電源装置）の安全上の注意事項及び機能と操作方法を紹介しています。

本装置を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。

また、読み終わった後も必要な時にすぐ読むことができるように大切に保管してください。

2009 年 11 月　第 1 版

- 本書の内容は予告なしに変更をすることがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写や転写しないでください。
- 本書の中で使用している画像の一部は実際の製品と異なる場合がございますが、機能的な違いはございませんのでご了承ください。
- 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、誤りやお気付きの点、ご不明な点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- 本書に書かれた注意事項を守らずに使用された結果については、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求については、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

株式会社サイバーパワー・ジャパン

2 重要な安全上のご注意

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、本装置をご使用いただく前に必ず以下の注意事項を熟読し、正しくお使いください。

このマニュアルにはいろいろなマークを記載していますが、その意味は下記のようになっております。

内容をよくご理解いただいたうえで、本文をお読みください。

マークの説明

⚠ 危険	誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う危険性があります。
⚠ 警告	誤った取り扱いをした場合、障害を負ったり、物的損害の発生する危険性があります。
⃠ 禁止	安全のために絶対にしてはいけない「禁止」の内容です。
❗ 強制	安全のために必ずしなければならない「強制」の内容です。

基本注意事項

⃠ 禁止
● 本装置は一般家庭、一般事務室におけるコンピュータの周辺機器としての使用を前提に開発されたものです。次のような用途では絶対に使用しないでください。 ・全ての医療機器や、生命にかかわるような機器などへの使用。 ・人身の損傷に至る可能性のある交通機関、エレベーターなどへの使用。 ・社会的・公共的に重要なコンピュータシステムなどへの使用。 ・レーザープリンタ、シュレッダーなどの大型電気製品や工作機械などへの使用。 ・これらに準ずる装置などへの使用。

基本注意事項

⚠ 危険
● 感電のおそれがありますので本装置のカバーは取り外さないでください。ユーザーが使用する部品は中に入っていません。 ● プラグが抜けている状態でも、本装置内部の危険な帯電部がバッテリで通電されていることがあります。 ● 本装置はヒューズまたはブレーカー保護下の壁面コンセントに接続してください。 ● 感電を避けるため、コンピュータコンポーネントをインストールする前に本装置の電源を切り、壁面コンセントから入力プラグを抜いてください。

設置に関する注意事項

⚠ 警告
● 本装置は前後及び左右に 10cm 以上の空間を設けて設置してください。 ● 本装置の通風口はふさがないでください。 ● 本装置の上に物をのせないでください。 ● 本装置を火や火花が発生するおそれのあるものに近づけないでください。爆発したり、破裂したりする危険性があります。 ● 火災や感電の危険性を防止するため、温度・湿度制御された室内の、導電性物質を避けた場所に設置してください。（仕様欄に記載された使用環境温度・湿度の許容範囲を参照してください。） ● 仕様欄に記載された使用環境温度・湿度の許容範囲から外れた場所、直射日光やストーブ等の熱源から熱を直接受ける場所、屋外や乗り物など振動や衝撃が加わるおそれのある場所、可燃性ガスや腐食性ガス、塩分などがある場所での使用はしないでください。 ● 本装置の近くに花瓶や水槽など、水の入った容器を置かないでください。結露などによる感電や火災の危険性があります。 ● 本装置をほこりの多い場所に設置しないでください。ほこりがたまり、感電や火災の危険性があります。 ● アース線を必ず接続してください。アース線を接続しないと感電や火災の危険性があります。 ● 延長用の電源ケーブルや、たこあし配線となるアダプタは使用しないでください。

使用上の注意事項

⚠ 危険
● 使用の前にケーブルやプラグ、出力コンセント、壁面コンセントに破損のないことを確認してください。 ● ケーブルやプラグ、コンセントの接続が不完全なまま使用しないでください。ショートや発熱により感電や火災の危険性があります。 ● 本装置から異常な音や異常な臭いなど、何らかの異常を感じたときはすぐに停止し、本装置の電源を切り、壁面コンセントからプラグを抜いてください。 ● 感電の危険性がありますので、通風口や出力コンセントなどに棒や指などを入れないでください。 ● 入力プラグは絶対に出力コンセントに差し込まないでください。電流の還流によるアークが発生し、火傷や視覚障害などのおそれがあります。 ● 本装置が運転している状態で入力プラグを抜かないでください。 ● 本装置の移動は必ず本装置の電源を切り、壁面コンセントからプラグを抜いた状態で行ってください。 ● 本装置は内部にバッテリを含んでいます。壁面コンセントに接続されていない場合でも、出力コンセントに電圧が出力されていることがあります。

本装置に関する注意事項

⚠ 警告
● 本装置はコンピュータの周辺機器として設計しています。 ● 接続する機器の消費電力の合計が、仕様欄に記載された容量を超えないようにしてください。 ● トランスやインダクタなど巻線類の負荷には適合していません。 ● シーケンサなどの工作機械やレーザープリンタ、シュレッダー、複写機、室内暖房器、電気掃除機、排水ポンプ、その他大型電気製品を使用しないでください。 ● 本装置には寿命があります。寿命が来たら新しいUPSを購入し、交換してください。寿命を過ぎたUPSは火災の原因になることがあります。

バッテリに関する注意事項

⚠ 危険

- バッテリは必ず定期的に交換してください。
- バッテリは寿命を過ぎると液漏れをすることがあり、発煙や火災の危険性があります。
- バッテリから液漏れや異臭、発煙など異常が発生した時は、バッテリに触れないでください。
- バッテリの液が皮膚に付着したり、目に入った場合はすぐに流水で洗浄して、医師に相談してください。
- バッテリの寿命は使用温度条件や負荷容量、放電回数などによって大きく変化します。
- バッテリを火の中に入れないでください。また、たばこやライター等の火気は絶対に近づけないでください。
- バッテリの交換は必ず本装置の電源を切り、本装置につないでいる全ての機器を外し、壁面コンセントから入力プラグを抜いた状態で行ってください。
- 本装置がバッテリ運転中にバッテリを装置から取り外さないでください。
- バッテリの取り扱いは感電や火傷のおそれがあります。バッテリの交換を行う時は時計、指輪、ネックレスまたはその他の金属物を身体から全て外し、取っ手が絶縁された工具を使用してください。
- バッテリの周辺に工具や部品などの金属物を置かないでください。バッテリのコネクタが金属物に触れると装置の故障だけでなく、感電や火傷のおそれがあります。
- バッテリの交換をする際は指定された型番のバッテリを用意して交換してください。
- バッテリの配線やコネクタは絶対に交換しないでください。
- バッテリは使用しなくても自然放電しますので、3ヶ月ごとに 24 時間のバッテリ充電をしてください。バッテリ充電をしないとバッテリが使用できなくなります。

バッテリのリサイクルについて

- 本装置には鉛蓄電池を使用しております。鉛蓄電池は貴重なリサイクル可能な資源です。バッテリの交換及び使用済み製品の廃棄を行う際には、鉛蓄電池のリサイクルにご協力ください。
  - ・本装置のバッテリは「廃棄物および清掃に関する法律」において「特別管理産業廃棄物」に指定されています。むやみにバッテリを廃棄することはできません。
  - ・バッテリの交換及びバッテリのリサイクルの詳細、使用済みバッテリの廃棄については株式会社サイバーパワー・ジャパンの WEB サイト http://www.CPSww.com/ よりお問い合わせください。

保守・点検に関する注意事項

⚠ 危険
● 本装置の分解、修理、改造等は絶対にしないでください。分解、修理、改造等をすると正常に動作しなくなるばかりではなく、感電や火災の原因となることがあります。 ● 本装置の分解、修理、改造等を行った場合、または分解、修理、改造等を行ったと判断された場合は保証期間内であっても一切の修理、サポートをお断りします。 ● 本装置のお手入れの際は感電するおそれがありますので、本装置の電源を切り、本装置に接続している全ての接続機器を外し、壁面コンセントから入力プラグを抜いた状態で行ってください。 ● 本装置はバッテリを搭載しているため、壁面コンセントから入力プラグを抜いた状態でも装置内部に危険な電圧が加わっている部分があります。絶対に装置内部には触れないでください。 ● 濡れた手で本装置を触ったりプラグの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。 ● 雷が発生しましたら、接続された機器やケーブル類も含めた本装置に触れないでください。感電のおそれがあります。

⚠ 警告
● 本装置をより長く使用するために各種 LED やケーブルに異常がないか定期的に点検してください。 ● 設置されている部屋の温度や湿度を定期的に点検してください。

保守・点検に関する注意事項

⚠ 警告
● 本装置のお手入れの際は乾いたきれいな布で拭いてください。水を含んだ布やぞうきんは使用しないでください。 ● シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や化学ぞうきんは絶対に使用しないでください。

装置の保管について

強制
● 本装置を保管する前に 24 時間のバッテリ充電をしてください。また、3 ヶ月ごとに 24 時間のバッテリ充電をしてください。 ● 乾燥した温度の低いところに保管してください。 ● 直射日光の当たる場所や熱源の近く、40℃を超える場所では保管しないでください。 ● バッテリは保管中でも劣化しますのでご注意ください。 ● 本装置の使用を再開する前には必ず十分に充電をしてください。

3 製品紹介

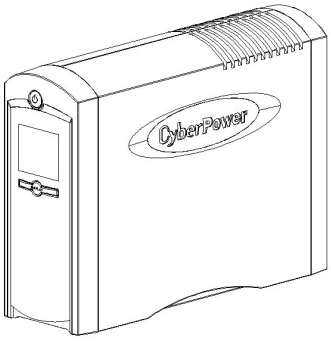
セット内容の確認

梱包箱を開けてセット内容を確認してください。梱包箱には以下のものが含まれています。

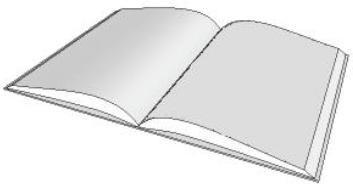
不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

UPS 装置（本体）	1 台
取扱説明書（本書）	1 冊
PowerPanel® パーソナル版ソフトウェア CD-ROM	1 枚
USB ケーブル	1 本
電話線（RJ11）	1 本
同軸ケーブル	1 本
3P→2P 入力プラグ変換アダプタ	1 個

シリアルポートでの接続を行う場合は市販のシリアル（DB-9)ケーブルをご用意ください。

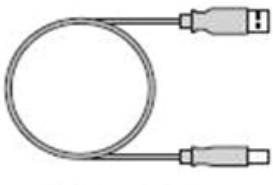


UPS 装置（本体）

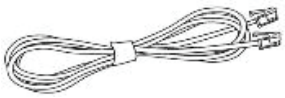


取扱説明書

PowerPanel® パーソナル版
ソフトウェア CD-ROM

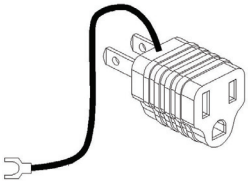


USB ケーブル



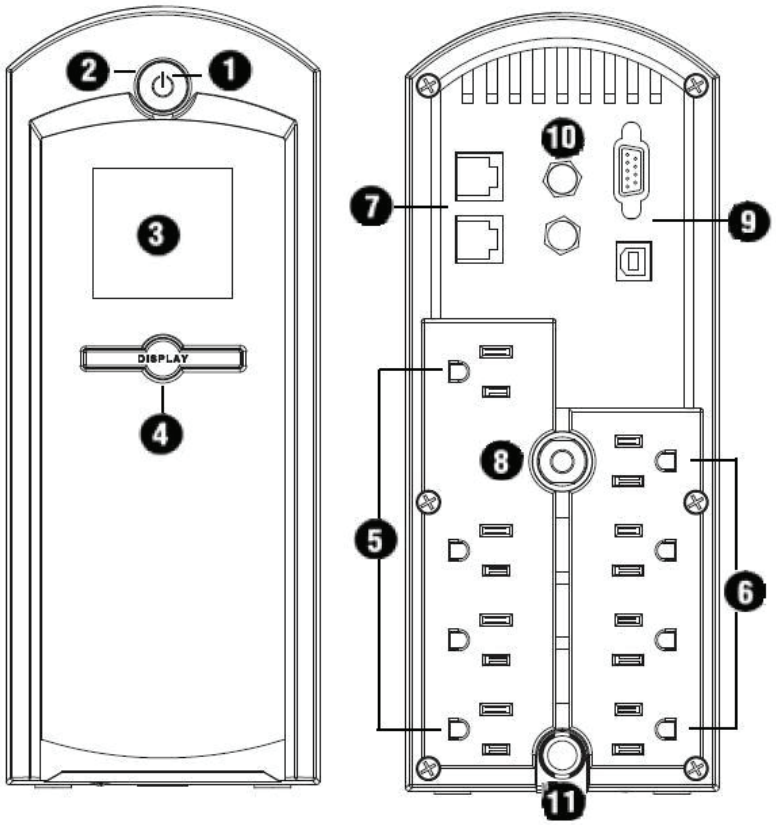
電話線（RJ11）

同軸ケーブル



3P→2P
入力プラグ変換アダプタ

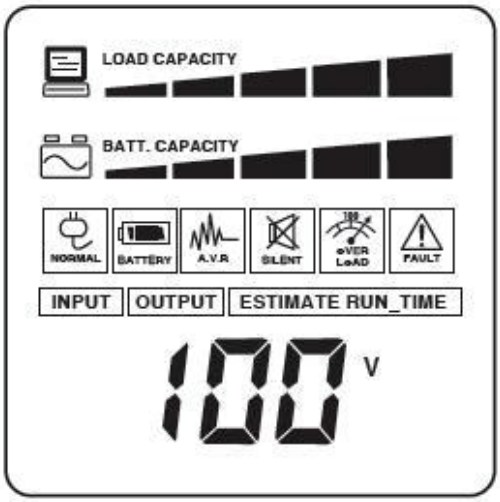
各部の名称



No.	名　称	機　　能
1	電源スイッチ	電源ボタンを押すことでUPSをオン（運転）、オフ（停止）にします。
2	パワーオンインジケーター	電源が正常で、UPSのコンセントに電気が流れていてサージやスパイクがない状態の時に点灯します。
3	LCDモジュールディスプレイ	高解像度およびインテリジェントなLCDディスプレイでは、アイコンとメッセージですべてのUPS情報を示しています。詳細については、「バックライトLCDインジケータの定義」セクションをチェックしてください。
4	LCDディスプレイトグル/選択されたスイッチ	スイッチは入力電圧、出力電圧およびおおよその実行時間を含め、LCDディスプレイコンテンツを選択するために使用できます。トグル周波数は、毎秒 1 回に設定されています。バッテリで作動中に 2 秒以上スイッチを押し続けると、ブザーが鳴りやみます。
5	サージ保護付バックアップコンセント（停電時バックアップする）	4 口のバッテリバックアップ及びサージ保護コンセントです。停電時に接続機器の動作を確実に継続します。（レーザープリンタ、シュレッダー、複写機、室内暖房器、電気掃除機、排水ポンプ、その他大型電気製品をつながないでください。これらの機器の消費電気

		量は過負荷となり、装置に損害を与える場合があります。)
6	サージ保護付スルーコンセント(停電時バックアップしない)	4 口のサージ保護コンセントです。バッテリバックアップの機能はありません。このコンセントは電源スイッチのオン、オフにかかわらずに出力します。
7	通信保護ポート	通信保護ポートは標準の電話機、ファックス、モデムの電話線(RJ45)を保護します。
8	ブレーカー	UPSの側面にあり、過負荷や障害防止として機能します。
9	USBポートとシリアル(DB-9)ポート	コンピュータとUPS上のUSBまたはシリアル(DB-9)ポート間の接続、通信を行います。UPSはステータスをPowerPanel®パーソナル版ソフトウェアに送信します。シリアル(DB-9)インターフェースはWindows® NT/2000/2003/XPで提供されている電源管理と互換性があり、USBインターフェースはWindows Vista、Mac OS XおよびLinuxで提供されている電源管理と互換性があります。 注意 1: 一度に使用できる通信ポートはUSBポートまたはシリアル(DB-9)ポートの 1 つだけです。 注意 2: PowerPanel®パーソナル版ソフトウェアをインストールするには、コンピュータ側の環境としてMicrosoft Internet Explore 6.0 以降のバージョンがインストールされている必要があります。 注意 3: シリアルポートでの接続を行う場合は市販のシリアル(DB-9)ケーブルをご用意ください。
10	同軸/ケーブル/DSSサージ保護	同軸/ケーブル/DSSサージ保護ポートはすべてのケーブルモデム、CATVコンバータ、またはDSSレシーバーを保護します。
11	アダプターサイズコンセント	この 1 口のコンセントはACアダプターが隣接したコンセントに重なることなく接続できる、広間隔コンセントです。

バックライトLCDインジケータの定義



LCD ディスプレイには、さまざまな UPS 操作条件が示されます。すべての説明は、UPS が AC コンセントに差し込まれているときにオンになった場合、または UPS がバッテリで作動しているときの条件下で適用されます。

入力電圧メーター:このメーターは、UPSシステムが壁面コンセントから受け取るAC電圧を測定します。UPSは、自動電圧制御を使用することで、接続された機器に安定した 100 出力電圧の電力を絶え間なく供給するように設計されています。停電、ひどい電力低下、または過電圧の場合、UPSはその内部バッテリによって一貫した 100 出力電圧を供給します。入力電圧メーター:は、粗悪な入力を確認する診断ツールとして使用できます。

出力電圧メーター:このメーターは、リアルタイムで、通常ラインモード、AVRモード、およびバッテリバックアップモードなどの、UPSシステムがコンピュータに提供しているAC電圧を測定します。

注:出力電圧メーターには、バッテリバックアップコンセントの状態が表示されます。

おおよその実行時間:ここには、現在のバッテリ容量と負荷でUPSのおおよその実行時間が表示されます。

通常アイコン:UPSが通常の条件下で作動しているとき、このアイコンが表示されます。

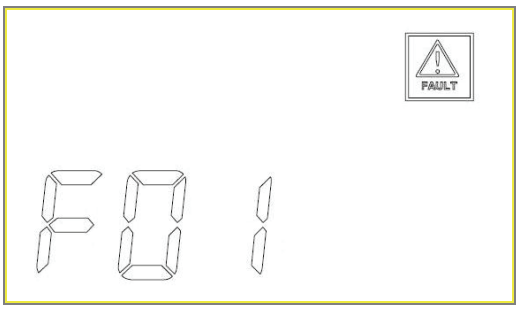
バッテリアイコン:ひどい電力低下または停電の間、このアイコンが表示されUPSがその内部バッテリから作動していることを示すアラーム(2 回の短いビープ音に続いて間)が鳴ります電力低下や停電が長引く場合、アラームは連続して鳴り(バッテリ容量メーターの斜線の付いた 20%のブロックが 1 つになると)、UPSのバッテリがほとんどなくなりかけていることを示します。ファイルを保存し、装置の電源を直ちにオフにする必要があります。

AVR（自動電圧調整器）アイコン:UPSがバッテリを使わずに、低すぎるまたは高すぎるACライン電圧を自動的に補正するときに、このアイコンが常に表示されます。これは通常の状態で、UPSは自動運転され、ユーザーの側ですることは何もありません。

サイレントモードアイコン:UPSがサイレントモードに入っているとき、このアイコンが表示されます。バッテリ残量が低下するまで、サイレントモードの間ブザーは鳴りません。

過負荷アイコン:バッテリの差し込み口が過負荷になると、このアイコンが表示されアラームが鳴ります。過負荷を取り除くには、アイコンが消えアラームが停止するまで、バッテリの差し込み口から機器を１つ１つ抜きます。

障害アイコン:UPSに問題があるとき、このアイコンが表示されます。詳細なヘルプとサポートについては、株式会社サイバーパワー・ジャパン(support@cyberpower.jp)にお問い合わせください。



F01: バッテリモードまたは商用電源モードの過負荷

F02: バッテリ出力のショート

F03: 充電障害

F04: 内部故障

バッテリ容量メーター:このメーターは、UPSの内部バッテリのおおよその充電レベルを(20%刻みで)表示します。停電またはひどい電力低下の間、UPSはバッテリ電源に切り替わり、バッテリアイコンが表示され、充電レベルが減少します。

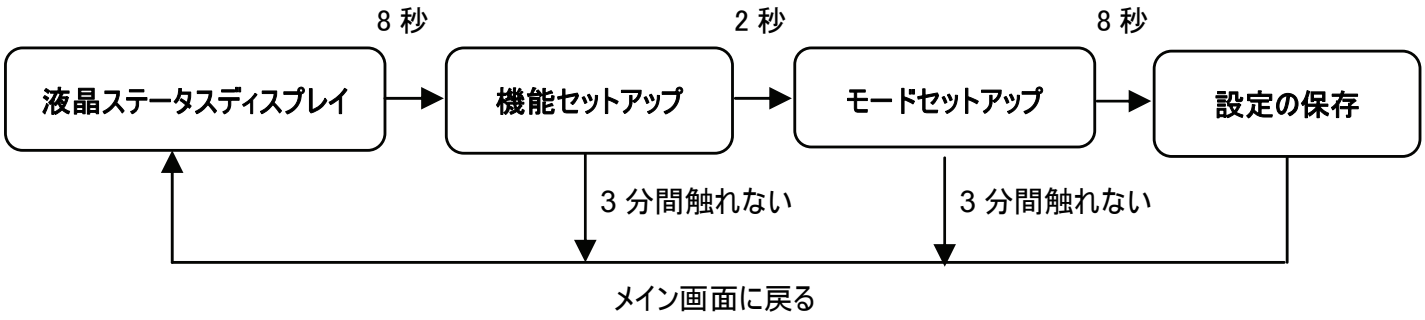
負荷メーター:このメーターは、UPSのバッテリ差し込み口のおおよその出力負荷レベルを(20%刻みで)表示します。

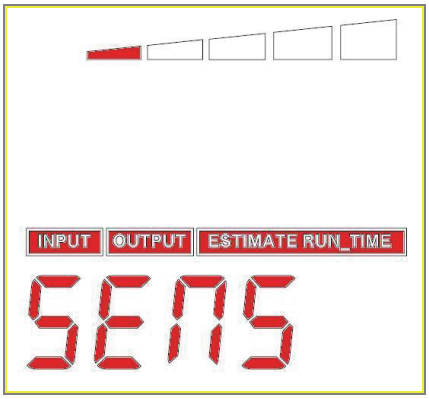
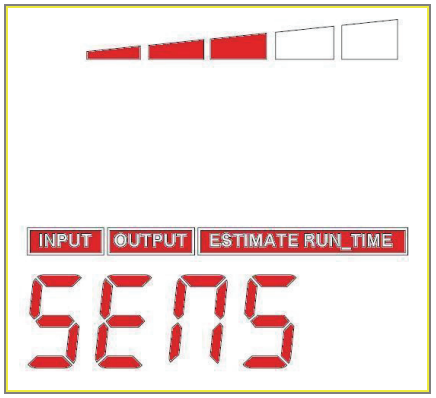
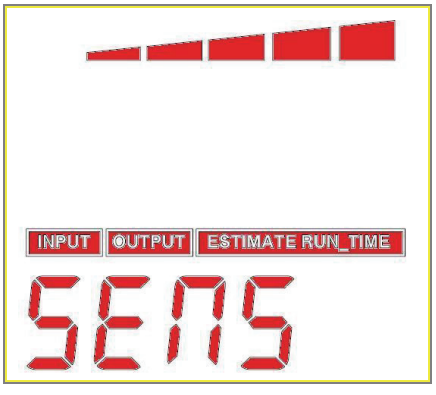
高度な液晶機能のセットアップ

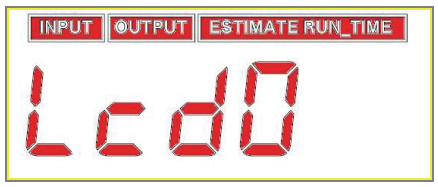
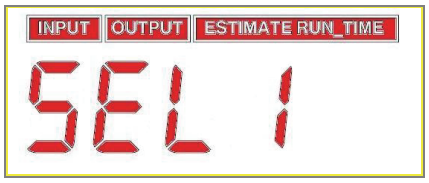
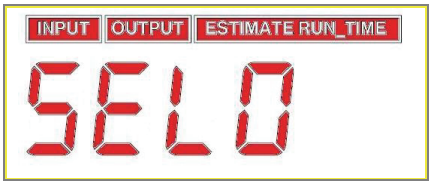
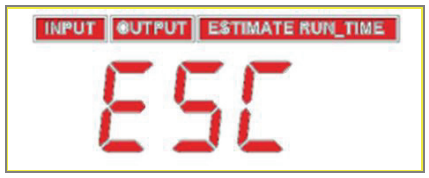
液晶ディスプレイボタンを通してセットアップできる、高度な液晶機能があります。(1) **ミュート**: 警報音の有効/無効を切り替えます。(2) **感度**:バッテリモードを切り替えるためにUPSの感度を制御します。感度が高ければ、それだけUPSはバッテリモードを切り替えやすくなります。(3) **液晶常にオン**: 液晶を常に点灯します。(4) **セルフテスト**:バッテリモード機能をテストするために、ラインモードでテストを実行します。テストが完了すると、ラインモードに戻ります。(5) **ESC**:設定を行わずにセットアップモードを終了すると、液晶ステータスディスプレイ画面に戻ります。

ミュート機能の場合、ディスプレイボタンを 2 秒間押して警報音の有効/無効を切り替えます。警報音を有効にすると、サイレントアイコンは点灯しません。警報音を無効にすると、サイレントアイコンが点灯します。

感度、液晶常にオン、セルフテスト、ESC機能の場合、ディスプレイボタンを 8 秒間押して**機能セットアップ**画面に入ります。ディスプレイボタンを一度押して感度、液晶常にオン、セルフテスト、ESC機能を選択します。機能を選択するとき、2 秒押して**モードセットアップ**画面に入ります。(または、選択した機能がESCの場合、2 秒押して機能セットアップ画面を終了し、設定を行わずに液晶ステータスディスプレイ画面に戻ります)。モード詳細を次の表で説明します。ディスプレイボタンを押してお好みのモードを選択します。モードを選択するとき、8 秒間押して設定を保存します。ディスプレイボタンに 3 分間触れないと、**セットアップモード**を終了しUPS**液晶ステータスディスプレイ**画面に戻ります。



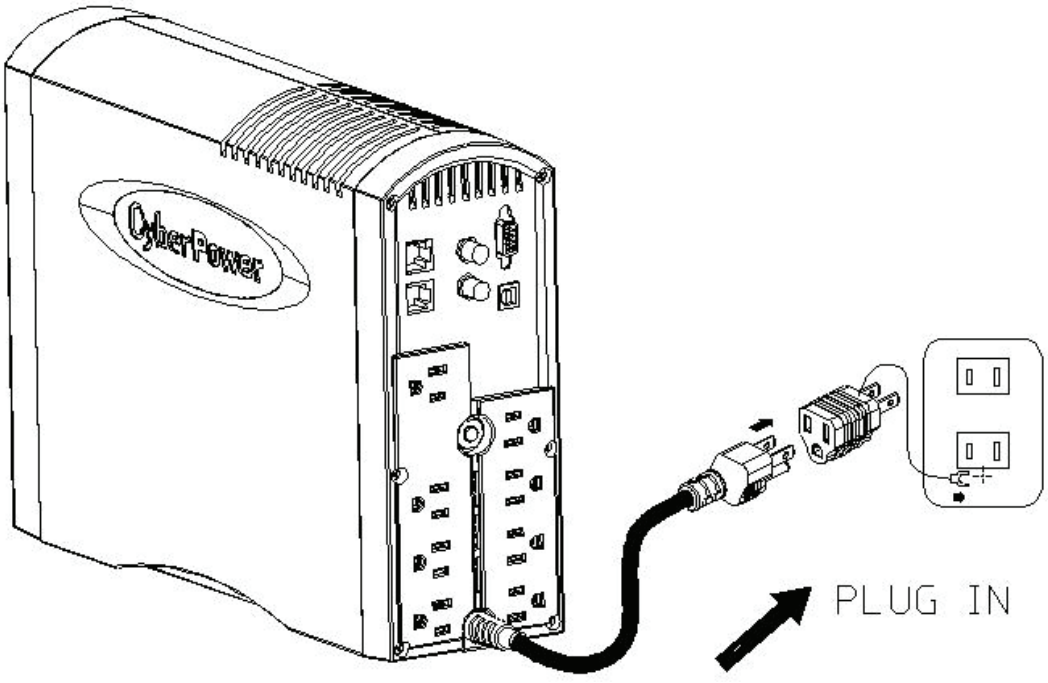
機能セットアップ	モードセットアップ	アイコン	説明
感度	低 (79-126Vac)		装置は感度が高くないため、バッテリモードに切り替えるのが容易でありません。
	中 (82-123Vac)		これはデフォルトの設定です。
	高 (85-120Vac)		装置は高感度で、バッテリモードに切り替えるのが容易です。

液晶常にオン	オン		液晶ディスプレイボタンを押す押さないにかかわらず、液晶は常にオンになっています。
	オフ		ラインモードで、液晶ディスプレイボタンに 1 分間触れないと、UPS はスリーピングモードに入ります。ディスプレイボタンを押すまで、液晶は表示されません。バッテリモードで、液晶は常にオンになっています。
セルフテスト	オン		セルフテスト機能はオンになっています。
	オフ		セルフテスト機能はオフになっています。
ESC	該当なし		液晶ステータスディスプレイ画面に戻ります。

4 接続

1　充電をします

UPS は開梱後すぐに使用することができますが、バッテリをフルに充電しておくために、少なくとも 8 時間以上の充電を推奨します。 これは輸送や保管の間にバッテリが自然放電する場合があるためです。バッテリを充電するには UPS をアースのある 2 極 3 線式コンセント（壁面コンセント）につなぎます。壁面コンセントがヒューズまたはブレーカーで保護されていて、消費電力の大きい機器（空調機、冷蔵庫、複写機など）が接続されていないことを確認してください。延長用の電源ケーブルや、たこあし配線となるアダプタ及びコンセントやサージをむき出しで使用しないでください。また入力プラグのアース線を必ず接続してください。



2　UPS の出力コンセントに機器をつなぎます

UPS の電源をオフにして入力プラグを壁面コンセントから外した状態で、バッテリバックアップ を必要とするコンピュータ、モニタ、その他の周辺機器をサージ保護付バックアップコンセント（停電時バックアップする）につなぎます。

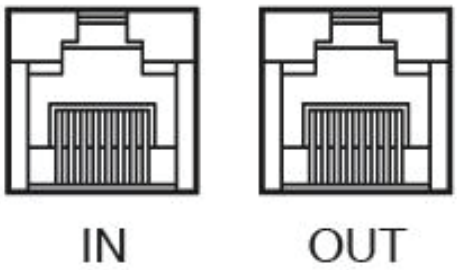
バッテリバックアップ の必要がない周辺機器（プリンタ、スキャナー、スピーカなど）はサージ保護付スルーコンセント（停電時バックアップしない）につなぎます。

レーザープリンタ、ペーパーシュレッダ、複写機、室内暖房機、電気掃除機、排水ポンプなどの大型電気製品は UPS の出力コンセントに差し込まないで下さい。これらの機器の消費電力は過負荷となり UPS や接続した機器に損害を与える場合があります。

⚠ 警告
接続する機器の消費電力の合計が、UPS の定格容量を超えていないことを確認してください。装置の定格容量より使用容量が上回ると、過負荷状態によりシャットダウンまたは UPS 装置のブレーカーが働く場合があります。

3　UPS に通信機器をつなぎます

電話機、ファックスまたはモデムを保護するには、壁面コンセントジャックから電話線（RJ45)を UPS の壁面 ジャックマークのついた差込口につなぎます。そして PC マークのついた出力端子から電話線（RJ45)をコンピュータの モデムポートにつなぎます。電話マークの出力端子は電話機またはファックスの保護に使用します。



4　ソフトウェアのインストールをします

付属の「PowerPanel® パーソナル版ソフトウェア CD-ROM」をインストールし、UPSとコンピュータを接続することで、電源状態のモニタリングなどを行うことができます。

「PowerPanel® パーソナル版ソフトウェア CD-ROM」のインストールは UPS とコンピュータを接続する前に行ってください。

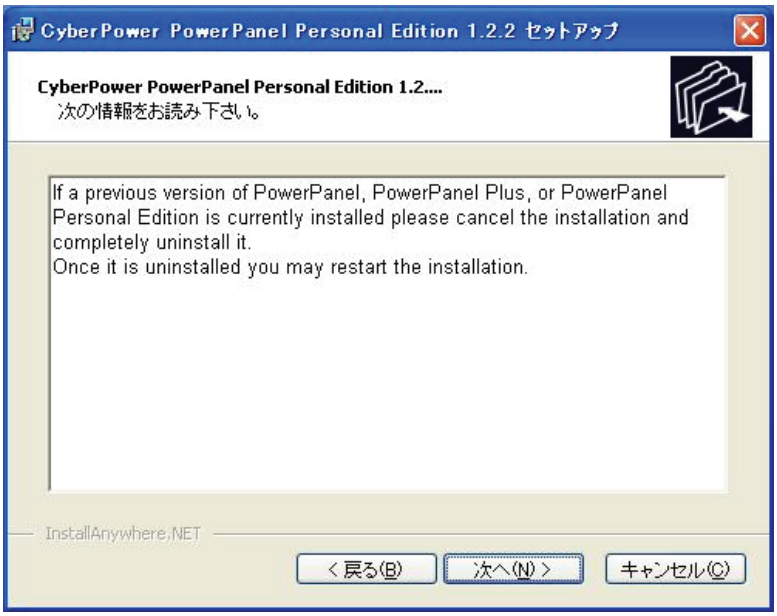
なお、説明画像は本マニュアル作成時のバージョンのものを使用しているため、付属の CD-ROM に収録されたバージョンと異なる場合があります。

1. 「PowerPanel® パーソナル版ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットしてください。
2. インストールプログラムが自動起動してセットアップウィザードが表示されます。コンピュータの設定等により自動起動しなかった場合は、CD-ROM 内の「Windows」フォルダ内にある「Setup.exe」を実行してください。

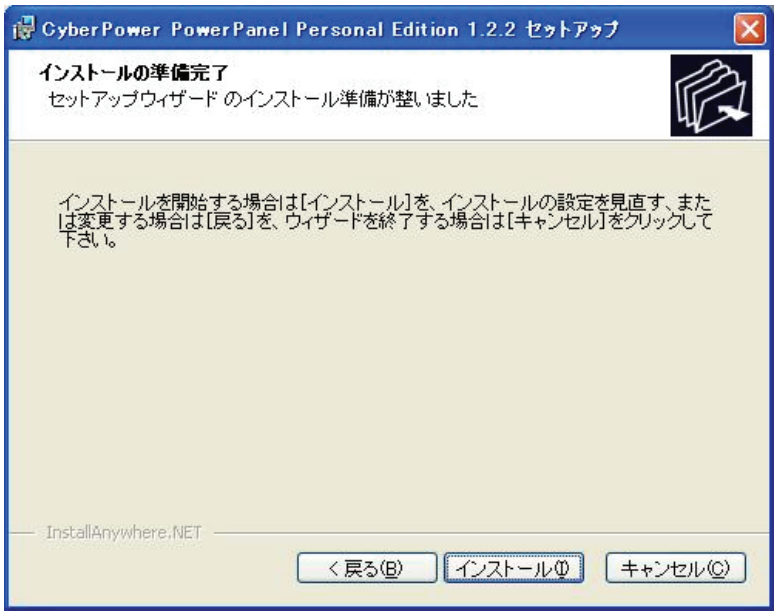
セットアップウィザードが表示されたら「次へ」をクリックして進めてください。

3. 使用許諾契約書をよくお読みいただき、内容に同意いただけましたら「使用許諾契約書に同意します」の先頭の〇をクリックし、「次へ」をクリックして進めてくだい。

4. 「次へ」をクリックして進めてください。



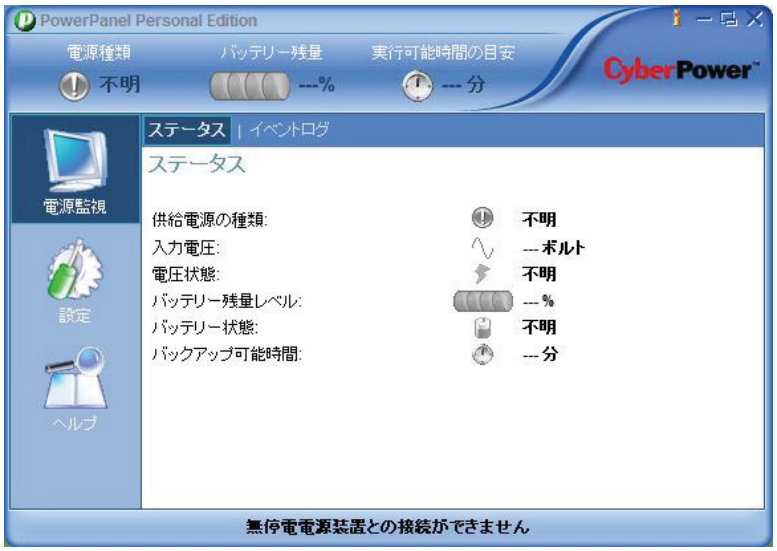
5. 「インストール」をクリックするとソフトウェアのインストールが始まります。



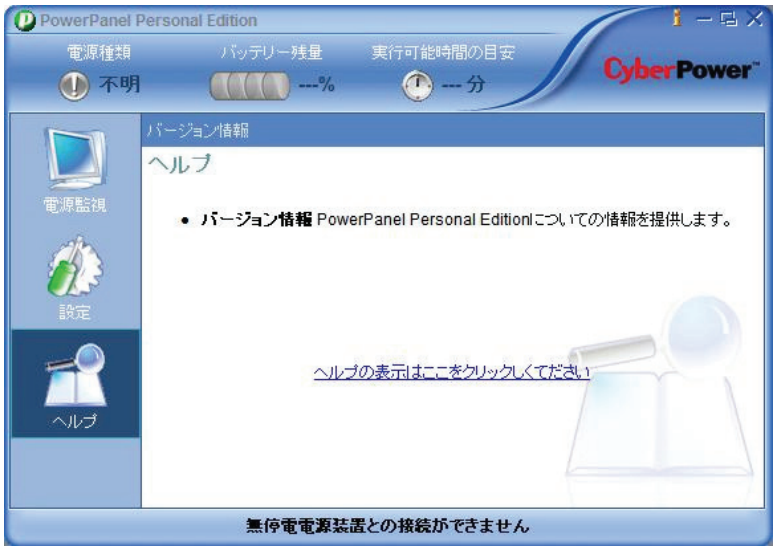
6. インストール作業が完了すると下記の画面が表示されますので、「完了」をクリックしてセットアップウィザードを終了させてください。

7. タスクトレイに「PowerPanel® パーソナル版」のアイコンが追加されます。このアイコンをダブルクリックするとソフトウェアが起動します。下記の画面は UPS とコンピュータを接続していませんので、アイコンに！マークがついています。

8. ソフトウェア起動後の画面です。下記の画面は UPS とコンピュータを接続していませんので、ステータスは不明になっています。



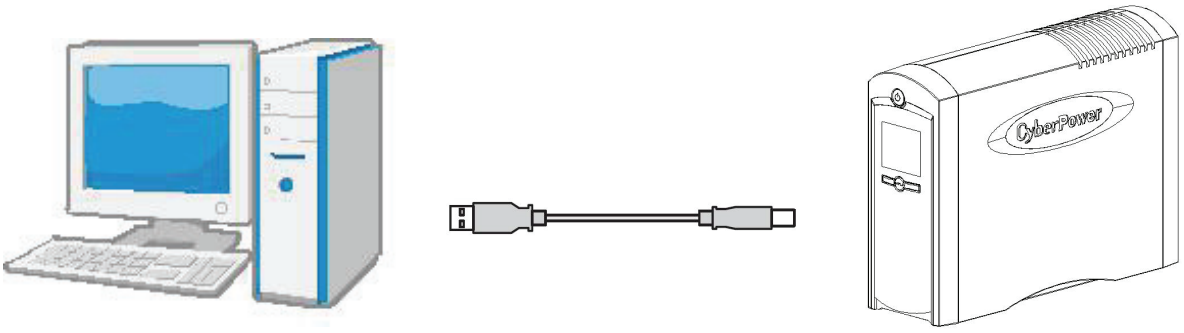
9. 「ヘルプ」をクリックしますと下記の画面が表示されます。画面中央の「ヘルプの表示はここをクリックしてください」の部分をクリックしますと、オンラインヘルプが表示されます。



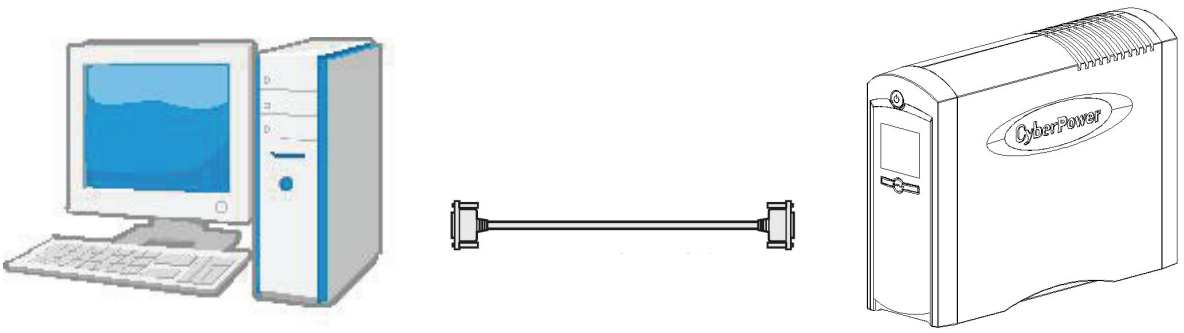
ソフトウェアの操作につきましてはオンラインヘルプをご参照ください。

5　UPS とコンピュータを接続します

USB ポートを使用して UPS とコンピュータを接続する場合は、接続を行う前にコンピュータへ「PowerPanel® パーソナル版ソフトウェア CD-ROM」をインストールしてください。インストールが完了しましたら、UPS の USB ポートとコンピュータを付属の USB ケーブルで接続してください。

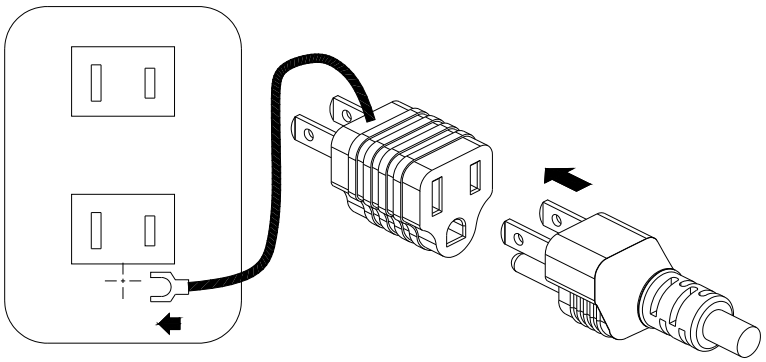


シリアルポートを使用して UPS とコンピュータを接続する場合は、事前に市販のシリアル（DB-9）ケーブルをご用意ください。接続を行う前にコンピュータへ「PowerPanel® パーソナル版ソフトウェア CD-ROM」をインストールしてください。インストールが完了しましたら、UPS のシリアルポートとコンピュータをシリアル（DB-9）ケーブルで接続してください。



5 運転

1　UPS をアースのある 2 極 3 線式コンセント（壁面コンセント）につなぎます。壁面コンセン トがヒューズまたはブレーカーで保護されていて、消費電力の大きい機器（空調機、冷蔵庫、複写機など）が接続されていないことを確認してください。延長用の電源ケーブルや、たこあし配線となるアダプタ及びコンセントやサージをむき出しで使用しないでください。
また入力プラグのアース線を必ず接続してください。



アースに接続します

2　UPS を起動するには電源スイッチを押してください。パワーオンインジケーターが緑に点灯し、短いビープ音が数回鳴ります。
過負荷が検出されると、警報音として長いビープ音が 1 回鳴ります。この状態を解消するには、電源スイッチを押して UPS をオフにして、サージ保護付バックアップコンセント（停電時バックアップする）に接続されている機器を少なくとも1つ外して下さい。その後、10 秒以上待ってからブレーカーを押し下げ、電源スイッチを押して UPS をオンにします。

3　バッテリを最適な状態で使用するためには、UPS を常時壁面コンセントにつないでおいてください。

4　UPS を停止させる場合には UPS につないだ全ての機器の電源をオフにし、UPS の電源スイッチを押して UPS をオフにしてください。パワーオンインジケーターが消灯し、UPS が停止します。

5　UPS を長期間保管する場合は、カバーをかけ、バッテリを完全充電した状態で保管してください。保管期間中はバッテリの寿命を保つために3ヶ月毎に 24 時間のバッテリ充電をして下さい。

パワーオンインジケーターと警報について

電源オン	警報	状態
オン	オフ	正常
オン	30 秒毎に 2 回のビープ音	設備障害：UPS のバッテリからサージ保護付バックアップコンセント（停電時バックアップする）に電気を供給しています。
オン	0.5 秒毎に速いビープ音	設備障害：バッテリの充電がまもなく切れることを示しています。
オフ	長いビープオン	バッテリ過負荷：UPS のサージ保護付バックアップコンセント（停電時バックアップする）に接続された機器が容量を超えています。UPS を停止して、サージ保護付バックアップコンセントから少なくとも機器を 1 つ以上外し、10 秒以上待ってからブレーカーを押し下げ、電源スイッチを押して UPS をオンにしてください。

6 バッテリ交換

1　バッテリの交換をする前に交換用バッテリを用意してください。
交換用のバッテリについては後述の「仕様」の項目を確認してください。

2　電源をオフにして、接続されたすべての機器のプラグを抜きます。

3　UPS の電源をオフにし、AC 電源からそのプラグを抜きます。

4　UPS を上下逆さまにします。

5　保持ねじを取り外します。

6　バッテリコンパートメントカバーを装置からスライドさせながら取り外します。

7　コンパートメントからバッテリを取り外します。

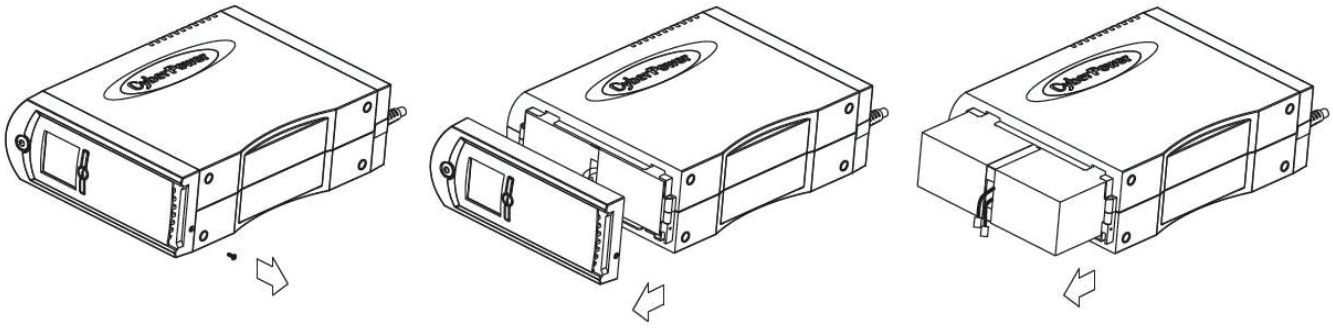
8　バッテリからバッテリワイヤを外します。

9　赤いワイヤと黒いワイヤをバッテリパックから出る同じ色のワイヤに接続することで、交換するバッテリを取り付けます。

10　バッテリをコンパートメントに戻します。

11　バッテリコンパートメントカバーをスライドさせながら元に戻し、保持ねじを締め付けます。

12　バッテリが完全に充電されるまで、UPS を 8～16 時間コンセントに接続しておきます。



バッテリに関する注意事項

⚠ 危険

- バッテリは必ず定期的に交換してください。
- バッテリは寿命を過ぎると液漏れをすることがあり、発煙や火災の危険性があります。
- バッテリから液漏れや異臭、発煙など異常が発生した時は、バッテリに触れないでください。
- バッテリの液が皮膚に付着したり、目に入った場合はすぐに流水で洗浄して、医師に相談してください。
- バッテリの寿命は使用温度条件や負荷容量、放電回数などによって大きく変化します。
- バッテリを火の中に入れないでください。また、たばこやライター等の火気は絶対に近づけないでください。
- バッテリの交換は必ず本装置の電源を切り、本装置につないでいる全ての機器を外し、壁面コンセントから入力プラグを抜いた状態でおこなってください。
- 本装置がバッテリ運転中にバッテリを装置から取り外さないでください。
- バッテリの取り扱いは感電や火傷のおそれがあります。バッテリの交換を行う時は時計、指輪、ネックレスまたはその他の金属物を身体から全て外し、取っ手が絶縁された工具を使用してください。
- バッテリの周辺に工具や部品などの金属物を置かないでください。バッテリのコネクタが金属物に触れると装置の故障だけでなく、感電や火傷のおそれがあります。
- バッテリの交換をする際は指定された型番のバッテリを用意して交換してください。
- バッテリの配線やコネクタは絶対に交換しないでください。
- バッテリは使用しなくても自然放電しますので、3ヶ月ごとに 24 時間のバッテリ充電をしてください。バッテリ充電をしないとバッテリが使用できなくなります。

バッテリのリサイクルについて

- 本装置には鉛蓄電池を使用しております。鉛蓄電池は貴重なリサイクル可能な資源です。バッテリの交換及び使用済み製品の廃棄を行う際には、鉛蓄電池のリサイクルにご協力ください。
  - ・本装置のバッテリは「廃棄物および清掃に関する法律」において「特別管理産業廃棄物」に指定されています。むやみにバッテリを廃棄することはできません。
  - ・バッテリの交換及びバッテリのリサイクルの詳細、使用済みバッテリの廃棄については株式会社サイバーパワー・ジャパンの WEB サイト http://www.CPSww.com/ よりお問い合わせください。

7 故障かな？と思ったら

本装置を使用するにあたり、故障かな？と思ったら以下の項目について確認を行ってください。
問題が改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、修理をご依頼ください。

1　サージ保護付バックアップコンセント（停電時バックアップする）の電気供給が停止し、ブレーカーが飛び出た状態になっている。

原因：過負荷によりブレーカーが働いた。

対策：電源スイッチを押して UPS をオフにして、サージ保護付バックアップコンセント（停電時バックアップする）に接続されている機器を少なくとも 1 つ外して下さい。
その後、10　秒以上待ってからブレーカーを押し下げ、電源スイッチを押して UPS をオンにします。

2　UPS の最大運転時間が期待時間を下回っている。

原因：バッテリの充電が不十分。

対策：出力コンセントにつないでいる全ての機器を外し、24 時間のバッテリ充電をしてください。

原因：バッテリが消耗している。

対策：バッテリの充電を行い、改善されない場合はバッテリの交換をしてください。
バッテリの交換については株式会社サイバーパワー・ジャパンの WEB サイト
http://www.CPSww.com/　よりお問い合わせください。

3　UPS の電源がオンにならない。

原因：電源スイッチの急なオン、オフ操作による損害を防止するよう設計されています。

対策：10 秒以上待ってから電源スイッチを押して、UPS をオンにします。

原因：UPS が正常なコンセントに接続されていない。

対策：UPS は電圧 100V、周波数 50Hz/60Hz コンセントに接続してください。

原因：バッテリが消耗している。

対策：バッテリの充電を行い、改善されない場合はバッテリの交換をしてください。
バッテリの交換については株式会社サイバーパワー・ジャパンの WEB サイト
http://www.CPSww.com/ よりお問い合わせください。

4　PowerPanel®パーソナル版ソフトウェアの全てのアイコンがグレー表示（非アクティブ状態）になっている。

原因：UPS とコンピュータが接続されていない。

対策：USB ポートまたはシリアルポートを使用して UPS とコンピュータを接続してください。シリアルポートでの接続を行う場合は市販のシリアル（DB-9)ケーブルをご用意ください。

原因：バッテリの電気が供給されていない。

対策：コンピュータをシャットダウンしてから、電源スイッチを押して UPS をオフにします。
その後、10 秒以上待ってから電源スイッチを押して UPS をオンにします。これで装置をリセットできます。

8 仕様

仕様

型番	CP900SW JP	CP1200SW JP
容量	900VA / 540W	1200VA / 720W
入力電圧	初期設定:下限 82V - 上限 123V 下限設定範囲値:下限 79V - 上限 85V 上限設定範囲値:下限 120V - 上限 126V	
入力周波数	47Hz - 63Hz	
バッテリ出力電圧	100Vac +/-5%	
転送時間	7ms	
サージ保護付バックアップコンセント（停電時バックアップする）の最大負荷 (4 コンセント)	900VA / 540W	1200VA / 720W
サージ保護付コンセントの最大負荷 (8 コンセント)	12A	
バッテリの出力波形	正弦波	
使用環境温度	0℃ - 40℃	
使用環境相対湿度	0 - 90%（無結露）	
外形寸法（長さ x 幅 x 高さ）	337 x 100 x 249 mm	
重量	11.3kg	11.6kg
バッテリタイプ	12V 7AH	12V 8.5AH
標準バッテリ充電時間	全て放電した状態で標準 8 時間	
標準バッテリ寿命	3 年～6 年、放電/充電サイクルの回数に依存	
交換用バッテリ	CyberPower Webサイトを参照してください	
安全規格	VCCI Class B	

期待動作時間一覧表

モデル	50W	100W	200W	300W	400W	500W	600W	700W
CP900SW JP	110 分	54 分	23 分	16 分	9 分	5 分	-	-
CP1200SW JP	120 分	60 分	30 分	20 分	10 分	6 分	4 分	2.5 分

9 省エネルギー技術 GreenPower UPS™ & Active PFC 対応

CyberPower の環境への取り組み

CyberPower は、グリーン製品（環境に配慮した製品）の開発に注力しており、事業を通じて、クライメート セーバーズ コンピューティング イニシアチブ(CSCI)にメンバーとして参加、特定有害物質使用制限指令(RoHS)、廃電気電子機器指令(WEEE)製品、および ISO 14001 や IECQ QC080000 などへの準拠を含む、環境への取り組みを心がけています。CyberPower は、環境に優しい先進的なエネルギーソリューションを提供し、環境にやさしい企業として UPS 業界を主導することをお約束します。

GreenPower UPS™テクノロジでエネルギーコストを削減

CyberPowerは、単に環境にやさしい製品を提供するのではなく、消費者に最高の価値をもたらすことを目標としています。高度な省エネ設計は、運転率を向上させ、無駄なエネルギー消費を排除します。つまり、GreenPower UPS™テクノロジを採用することで、消費者はエネルギーコストを大幅に抑えることができます。

Active PFC 対応

アクティブPFC電源は従来の電源に比べてより良い力率で電力を効率的に使用しています。このUPSはアクティブPFC電源を搭載したパソコンでも電源バックアップとしてご使用いただけます。

10 保証規定

本保証規定は株式会社サイバーパワー・ジャパンより日本国内に出荷された製品を、保証期間内の正常な使用状態において故障したと認められた場合に限り、弊社の定める方法にて無償修理対応を行うものです。

1　　保証期間

保証期間は お買い上げ日より 12 ヶ月間 です。

保証をお受けになる場合は弊社の発行する保証書と、製品型番、お買い上げ日、お買い上げの販売店名が明記されたレシートまたは伝票等の購入履歴の証明が必要となります。

並行輸入品、中古品、インターネットオークションを含む個人間の売買や譲渡によって入手された製品は保証対象外とさせていただきます。

2　　保証内容

保証期間内の正常な使用状態において故障したと認められた場合、弊社の定める方法にて無償修理対応を致します。

修理が難しいと判断をした場合は同製品または同等製品との交換とさせていただく場合がございますのでご了承ください。

修理依頼にかかる送料は、発送時はご依頼主様の元払い、返却時は弊社の元払いとさせていただきます。

修理預かり期間中の代替品出荷や貸し出しはできかねます。

故障した製品の原因追及や解析等の調査はできかねますのでご了承ください。

3　保証対象

保証対象はお買い上げいただいた製品単体の保証となります。

製品に接続している機器やデータ、記録、ソフトウェア等を含むその他の製品の保証をするものではございません。

また、後述する保証対象外事項 1 項目でも該当する場合は、保証期間内であっても理由を問わず保証対象外とさせていただきます。

4　保証対象外事項

保証期間内であっても次の項目に 1 項目でも該当する場合は、理由を問わず保証対象外とさせていただきます。

- ・製品型番、お買い上げ日、お買い上げの販売店名が明記されたレシートまたは伝票等の購入履歴の証明ができない場合。
- ・並行輸入品、中古品、インターネットオークションを含む個人間の売買や譲渡によって入手された場合。
- ・株式会社サイバーパワー・ジャパンより出荷された製品と確認できない場合。
- ・説明書やマニュアル等に記載されている内容と異なる接続方法や使用方法により発生した故障や損傷の場合。
- ・他の製品との組み合わせにより発生した相性等の不具合や故障、損傷の場合。
- ・お使いのコンピュータの設定や環境等に起因する不具合や故障、損傷の場合。
- ・輸送、移動、設置時の落下や衝撃等による損傷があった場合。
- ・正常な使用状態だったと判断できない消耗や損傷があった場合。
- ・製品の仕様に適合しない機器を接続したことにより発生した故障や損傷の場合。
- ・弊社以外での分解、改造、調整、部品交換、修理等をした場合。
- ・火災、地震、水害、落雷、その他の天災や異常電圧等による故障や損傷の場合。
- ・弊社より出荷された製品と確認できない場合。
- ・製品にシリアル番号が貼付されていない場合。

・購入履歴やシリアル番号等が汚損等により確認できない場合や改竄の形跡が認められる場合。

・日本国外で使用した場合。

5　免責事項

製品の運用または製品の運用不能に起因する損害(接続している他の機器の損傷、事業利益の損失・事業の中断・事業情報の損失、逸失利益やその他の金銭的損害を含む)については、弊社では一切の責任を負わないものとします。

本保証規定は予告なしに変更をすることがありますが、適用する保証規定は お買い上げ日の時点で有効な保証規定とします。

2009 年 3 月制定

株式会社サイバーパワー・ジャパン

11 保証書

次のページの保証書に必要事項をご記入のうえ、製品型番、買い上げ日、お買い上げの販売店名が明記されたレシートまたは伝票等の購入履歴の証明とあわせて大切に保管してください。

修理依頼の手順や修理についてのお問い合わせは株式会社サイバーパワー・ジャパンの WEB サイト http://www.CPSww.com/ にて確認してください。

保 証 書

製品型番	CP900SW JP / CP1200SW JP
保証期間	12 ヶ月
お名前	
ご住所　〒	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
お買い上げの販売店	
お買い上げ日（年月日）	
シリアルナンバー	

株式会社サイバーパワー・ジャパン

〒112-0002

東京都文京区小石川 1-3-10

コスモ後楽園ビル 9 階

http://www.CPSww.com/

MEMO

CyberPower®
Reliability. Quality. Value.